

第2次白石町行政経営プラン 令和6年度取組実績

(1) 人材育成の推進

取組項目	今後の実施内容	担当課	目標	数値目標		実績	実績
				基準値	目標値 (R9)	R5	R6
① 人事評価制度の有効活用	・能力評価・職員の強み（秀でている点）や弱み（改善すべき点）を明確に把握し、確実にフィードバックして当該職員の能力開発や改善に寄与する制度構築 ・業績評価・組織目標及び個人目標の設定をする際、総合計画における目標との関係性を意識し、困難な目標にチャレンジすることを推奨できる制度構築	総務課	・人事評価活用マニュアルの改訂	H30年に改訂 (ver. 1.3)	随時改訂	実施	実施
② 職員研修の効果的な実施	・人事評価制度による評価結果を基に、職員一人ひとりが自分自身と向き合い、自身の研修計画を作成し、組織規模で自己啓発を推進していく制度を構築する。 ・女性活躍の推進	総務課	・1人当たりの平均研修受講数/年	2.15件/年 (R4) ※総務課所管	3.00件/年	3.31件/年	2.35件/年
			・女性監督職及び管理職（係長以上）の割合	20.41% (R4)	30%以上	21.21%	22.00%

(2) 適切な定員管理と人員配置

実施項目	今後の実施内容	担当課	目標	数値目標		実績	実績
				基準値	目標値 (R9)	R5	R6
① 第4次白石町定員適正化計画の策定と実施	・第4次白石町定員適正化計画の策定及び同計画に基づく定員管理の適切な実施 ・適切な人員配置に基づく業務効率化	総務課	・職員の定員数	255人 (R4)	第4次白石町定員適正化計画による	255人	252人

(3) 柔軟で効率的な組織・業務体制の確立

実施項目	今後の実施内容	担当課	目標	数値目標		実績	実績
				基準値	目標値 (R9)	R5	R6
① 組織・機構の見直し	・組織体制の見直し ・プロジェクトチーム等の有効的な立ち上げ	企画財政課	・実施内容に同じ	実施	必要があれば随時実施	実施	実施
② 庁内共通業務のマニュアル作成	・対象業務の洗い出しと選定 ・マニュアルの作成 ・職員ポータル等システムの活用と職員への周知	総務課 企画財政課	・実施内容に同じ	未実施 (R4)	実施	実施	実施

(4) ワークライフバランスの推進

実施項目	主な実施内容	担当課	目標	数値目標		実績	実績
				基準値	目標値 (R9)	R5	R6
① 時間外勤務の削減	・時間外勤務の事前申請の厳守 ・職員の適正配置 ・業務効率化の推進	全庁 総務課	・年間の時間外勤務時間数	20,006時間 (R3) ※災害対応等を除く	10,000時間 ※災害対応等を除く	25,386時間	23,698時間
② 多様な働き方に対応する環境整備の推進	・庁舎内システムの活用によるオンラインでの労務管理やペーパーレス化の推進及びルール整備 ・時差出勤制度の導入検討	総務課	・実施内容に同じ	未実施 (R4)	実施	一部実施	一部実施

(5) 歳出の削減および合理化

実施項目	今後の実施内容	担当課	目標	数値目標		実績	実績
				基準値	目標値 (R9)	R5	R6
① 総合計画における指標の設定とその検証を踏まえた見直し	・総合計画・財政計画ヒアリングによる事業の見直し、廃止の検討 ・毎年の総合計画実施計画のローリング	企画財政課	・見直しまたは廃止を行った事業数	0 (R3)	5	3 ※単年	6 ※R5からR6までの累計
② 補助金・団体補助の見直し	・各種団体の活動内容・会員数の確認と補助金額の精査 ・近隣市町の補助金額等の確認	全庁 企画財政課	・見直しを行った件数	8 (R2~R4)	全補助団体	9 ※単年	16 ※R5からR6までの累計
③ 一般会計から下水道事業会計への繰出金の削減	・効率的な運営による歳出の削減	生活環境課	・一般会計から下水道事業会計への繰出抑制	503,211千円 (R3)	488,114千円	505,435千円 ※R5決算	504,575千円 ※R6.3月補正
④ 町有財産の有効活用	・未利用財産等の活用のニーズ調査 ・公共施設跡地利活用の検討と実施 (・検討する跡地：福富中学校、有明公民館、老人福祉センター等)	企画財政課 総合戦略課	・実施内容に同じ	未実施 (R4)	実施	一部実施	実施

(6) 歳入増加策の検討

実施項目	今後の実施内容	担当課	目標	数値目標		実績	実績
				基準値	目標値 (R9)	R5	R6
① ふるさと納税の推進	・返礼品の改良や数を増やす取組 ・インターネット広告等による宣伝の強化	商工観光課 企画財政課	・ふるさと納税の寄附額	820百万円 (R3)	1,600百万円	1,423百万円	1,120百万円
② 使用料・手数料の改定	・使用料・手数料の一律見直し (・原価の算定 ・近隣自治体の状況の調査 ・対象の選定 ・対象条例の改正)	企画財政課	・実施内容に同じ	未実施 (R4)	実施	一部実施	一部実施

(7) 公共施設マネジメント

実施項目	今後の実施内容	担当課	目標	数値目標		実績	実績
				基準値	目標値 (R9)	R5	R6
① 公共施設等総合管理計画の実行と見直し	・学校再編計画の実行 ・公共施設等再編計画の実行 ・各個別施設計画の実行	企画財政課 学校教育課	・公共建築物の延床面積の削減	116,982㎡ (H28)	7.7万㎡ (R18年度)	110,173㎡	113,135㎡

(8) 住民サービスの向上とDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

実施項目	今後の実施内容	担当課	目標	数値目標		実績	実績
				基準値	目標値 (R9)	R5	R6
① マイナンバーカードの交付率向上	・出張申請の実施 ・全職員体制での申請受付 ・マイナンバーカードを活用したサービスの向上による交付率向上の促進	住民課	・マイナンバーカードの交付率	74.93% (R5. 3. 26時点)	100%	80.60%	84.10%
② 電子申請の推進	・各種証明や手続きの電子申請での受け付け実施 ・公共施設予約の電子申請での受け付け実施 ・行政手続のオンライン化 ・キャッシュレス決済等の導入	全庁 総務課 企画財政課	・オンライン申請ができる手続き数	3 (R3)	50	21 ※R3からR5 までの累計	83 ※R3からR6 までの累計
③ 業務へのICT*活用の推進	・BPR※1の実施 ・RPA※2、AI-OCR※3の利活用	総務課	・RPA、AI-OCR等導入により改善した業務数	9業務 (R4)	50業務	12業務 ※R4からR5 までの累計	19業務 ※R4からR6 までの累計

(9) 民間活力や外部人材の有効活用

実施項目	今後の実施内容	担当課	目標	数値目標		実績	実績
				基準値	目標値 (R9)	R5	R6
① 民間企業等との効果的な連携	・各業務のBPRと民間委託等の実施	企画財政課	・BPRにより業務改善を行った業務数	9業務 (R4)	100業務	15業務 ※R4からR5 までの累計	34業務 ※R4からR6 までの累計

(10) 町民参画と町民協働の推進

実施項目	今後の実施内容	担当課	目標	数値目標		実績	実績
				基準値	目標値 (R9)	R5	R6
① 地域づくり協議会の設立推進	・地域づくり協議会の設立推進 ・町民協働に関する制度の創設	総合戦略課	・地域づくり協議会の設立数	2 (R4)	8	2 ※R4からR5 までの累計	2 ※R4からR6 までの累計

(11) 情報発信力の強化

実施項目	今後の実施内容	担当課	目標	数値目標		実績	実績
				基準値	目標値 (R9)	R5	R6
① 情報発信力の強化	・広報戦略の策定 ・プレスリリース*の徹底 ・外部人材の活用 ・プロモーションのノウハウ取得	総務課 企画財政課 総合戦略課	・交流人口の増加 (ホームページ訪問者数) (SNS登録者数)	HP 171,000 SNS 1,700 (R4)	HP 342,000 SNS 3,400	HP 162,925 SNS 1,914	HP 224,517 SNS 2,066

用語解説

ページ	用語	解説
7,10	DX	Digital Transformation の略で、Trans を「X」と略す造語。デジタル技術やデータの利活用及びそれに伴う組織・制度の変革により、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。
7	OJT	On-the-Job Trainingの略で、職場での実践を通じて業務知識を身につける育成手法のこと。
7	テレワーク	情報通信技術(ICT ※下記解説あり)を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。Tele（離れて）とWork（仕事）を組み合わせた造語。
8	スクラップアンドビルド	現在行っている事務事業や補助金等について見直しを行い、時代の変遷に応じて役割を終えていると考えられるものはスクラップ（廃止・縮減）し、それによって生み出された財源をより重要な新しい事業に振り向ける手法。
10	ICT	Information & Communication Technologyの略。情報通信技術を活用したコミュニケーションのこと。情報処理だけでなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスの総称をいう。
10	RPA	Robotic Process Automation の略で、パソコン上で行う業務を自動化するもの。データ入力や転記、ファイルの複製といった単純作業の手順をシステムに記憶させ、自動処理を行う。
10	AI-OCR	紙の書類をスキャナーなどで取り込みテキストデータ化する「OCR」に、「AI」を融合させた技術のこと。AIにより、文字の識別能力が格段に向上し、手書きの書類をテキストデータ化することが可能。
10,11	BPR	Business Process Re-engineeringの略で本計画では、業務フロー等の見直しの意味を表す。
12	(シティ) プロモーション	地域の魅力を内外に発信し、その地域へヒト・モノ・カネを呼び込み地域経済を活性化させる活動のこと。また、認知度向上やブランド力向上を目的とした活動のこと。
12	プレスリリース	プレス（press／報道機関）とリリース（release／発表・公開）を組み合わせた造語。言葉のとおり報道機関に向けて新しい情報を公開すること。